

2025年10月8日

各 位

本店所在地 東京都港区海岸一丁目7番1号
会 社 名 ソフトバンクグループ株式会社
(コード番号 9984 東証プライム市場)
代 表 者 代表取締役 会長兼社長執行役員
孫 正義

ABB Ltd のロボティクス事業の買収に関するお知らせ

ソフトバンクグループ株式会社（以下「当社」）は、エレクトリフィケーション（※1）とオートメーションのグローバルテクノロジーリーダーである ABB Ltd（以下「ABB」）のロボティクス事業を総額 53.75 億米ドル（約 8,187 億円（※2））で買収すること（以下「本買収」）について、2025 年 10 月 8 日（中央ヨーロッパ時間）付で ABB と最終的な契約を締結しましたので下記のとおりお知らせいたします。

本買収は当社の取締役会で承認されていますが、EU、中国及び米国を含む必要な規制当局の承認、その他の一般的なクロージング要件の充足を条件としています。当社は、本買収が 2026 年半ばから後半に完了するものと見込んでいます。

（※1）輸送・産業・建物などにおける動力源や熱源・光源を化石燃料から、電気に置き換えることの総称

（※2）1 米ドル=152.31 円で換算

記

1. 本買収の目的

パソコン、インターネット、ブロードバンド、スマートフォンと変遷してきた「情報革命」の中心が AI となった現在、当社は人類の進化に資する ASI（人工超知能）の実現を使命に掲げています。その実現に不可欠な①AI チップ、②AI ロボット、③AI データセンター、④電力の 4 分野において積極的な投資と事業展開を進めるとともに、生成 AI 分野をリードする企業への投資も行っています。

本買収は、こうした戦略の一環として、当社の AI ロボット事業を飛躍的に強化するものです。ABB のロボティクス事業は、高い信頼性と卓越した性能によって世界的に評価されるブランドであり、強固な販売チャンネルと幅広い顧客基盤を有しています。当社は AI をはじめとする先端分野への投資を通じて、同ロボティクス事業の成長を再び加速できる独自の強みを有する立場にあります。

本買収後、そのロボティクスプラットフォーム、専門的な知見及び各地におけるプレゼンスは、当社の既存のロボティクス関連投資——ソフトバンクロボティクスグループ株式会社、Berkshire Grey, Inc.、AutoStore Holdings Ltd.、Agile Robots SE、Skild AI, Inc.など——の技術基盤によって補完され、AI ロボティクス分野における革新を加速させるとともに、

ASIの実現に向けた進化と成長を力強く推進していきます。

2. 本買収の方法

ABB は、同社のロボティクス事業をカーブアウトし、持株会社を新設します。当社は、子会社を通じて同持株会社の全株式を ABB から総額 53.75 億米ドルで取得する予定です。本買収の結果、同持株会社は当社の子会社となります。

3. 本買収の主なスケジュール

取締役会決議（当社）（※3）	2025 年 9 月 22 日（日本時間）
ABB との売買契約締結（当社）	2025 年 10 月 8 日（中央ヨーロッパ時間）
本買収の完了	2026 年半ばから後半（予定）

（※3） 本取締役会決議においては、決議内容と矛盾しない範囲において、本買収及び本買収に係る契約に関する最終的な決定を代表取締役 会長兼社長執行役員の孫 正義並びに取締役 専務執行役員 CFO 兼 CISO 兼 GCO の後藤 芳光に一任しました。

4. 買収する持株会社の概要

(1) 名称	未定		
(2) 所在地	スイス連邦チューリッヒ		
(3) 代表者の役職・氏名	Marc Segura（現 President of ABB Robotics Division）		
(4) 事業内容	産業用ロボットの開発・製造・販売		
(5) 資本金	未定		
(6) 設立年月	未定		
(7) 従業員数	未定（現 ABB ロボティクス事業の従業員数は約 7,000 人）		
(8) 当社と関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
(9) ABB ロボティクス事業の最近 3 年間の経営成績及び財政状態（※4） （米国会計基準、プロフォーマ、非監査）	単位：百万米ドル		
	2022 年 12 月期	2023 年 12 月期	2024 年 12 月期
売上高	2,258	2,452	2,279
EBITDA	221	385	313
Operational EBITA（※5）	186	349	277
純資産	642	785	770

（※4） 本数値は、ABB より提供されたものです。買収対象事業が単独で運営された場合の実際の数値とは異なる可能性があります。

（※5） Operational EBITA は、ABB が用いる経営指標です。営業利益から、買収関連の無形資産償却、リストラクチャリング費用、事業売却益、非経常的な項目を除外した利益を示しています。

5. 株式取得価額及び取得前後の所有議決権の状況

(1) 異動前の議決権所有割合	—
(2) 取得する議決権の割合	100%
(3) 株式取得価額	取得価額：53.75 億米ドル（約 8,187 億円）（※6） 取得関連費用：未定（※7）
(4) 異動後の議決権所有割合	100%

（※6）取得価額は、本買収の完了日現在の正味運転資本や純有利子負債等を考慮して、一般的な調整が行われます。

（※7）取得関連費用（概算）については、判明次第速やかにお知らせします。

6. 各社マネジメントからのコメント

当社代表取締役 会長兼社長執行役員の孫 正義は以下のように述べています。

「ソフトバンクグループの次のフロンティアは『フィジカル AI』です。ABB ロボティクスとともに、共通のビジョンのもと、世界トップレベルの技術と人材を結集し、ASI とロボティクスを融合させることで、人類の未来を切り拓く画期的な進化を実現していきます。」

ABB CEO の Morten Wierod は以下のように述べています。

「ソフトバンクグループは、ABB のロボティクス事業と従業員にとって最適な場となるでしょう。ABB とソフトバンクグループは、世界が AI を基盤としたロボティクスの新時代に入りつつあるという認識を共有しており、両社のロボティクス事業が共にその時代を最良の形で実現できると確信しています。ABB ロボティクスは、その先進的な技術と業界の深い知見をソフトバンクグループの AI・ロボティクス・次世代コンピューティングの最先端技術と組み合わせることで、この分野におけるテクノロジーリーダーとしての地位をさらに高め、拡大していくことができます。」

7. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	ABB Ltd
(2) 所在地	スイス連邦チューリッヒ
(3) 代表者の役職・氏名	Morten Wierod, President and Chief Executive Officer
(4) 事業内容	エレクトリフィケーション、モーション、プロセスオートメーション、ロボティクス&ディスクリートオートメーション
(5) 資本金	162 百万米ドル（2024 年 12 月末現在）
(6) 設立年月日	1988 年 1 月 5 日
(7) 連結純資産	15,060 百万米ドル（2024 年 12 月末現在）
(8) 連結総資産	40,357 百万米ドル（2024 年 12 月末現在）
(9) 大株主（※8）	Investor AB, Sweden UBS Fund Management (Switzerland) AG

	BlackRock Inc., U.S.A.	
(10)当社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。

(※8) 詳細は ABB のウェブサイト内「Major shareholders」を参照ください。

8. 今後の見通し

本買収による業績等への影響や本取引の具体的な日程については、分かり次第お知らせします。

(参考) 当社の当期業績予想及び前期実績 (連結)

	売上高	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する純利益
当期業績予想 (2026年3月期)	百万円 -	百万円 -	百万円 -
前期実績 (2025年3月期)	百万円 7,243,752	百万円 1,704,721	百万円 1,153,332

現時点では業績に影響を及ぼす未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。当期業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

以 上